

令和 6 年度 西宮市公共事業評価シート

【自己評価結果】

実施予定年度	R 7 年度 ~ R 13 年度				[新築]
事業名	阪神西宮駅北地区公民連携事業(区画整理)		実施箇所	和上町外	
担当部署	局	政策局	部・室	都市計画部	課 都市計画課

総合計画	政策	第I部 住環境・自然環境	①魅力的な都市核の形成
------	----	--------------	-------------

事業の目的・内容	<p>〈事業実施の背景となる問題・ニーズ〉 阪神西宮駅の北側は、バス待機所や駐車場など低未利用地が多く、都市の拠点としてふさわしい都市機能の集積と土地の有効活用が図られていない。また、一般車両とバス・タクシー、歩行者が錯綜しているなど、交通利便性や安全性などの面で十分な交通結節機能が確保されているとは言い難い。</p> <p>〈対象〉 市民及び阪神西宮駅利用者等</p> <p>〈成果(対象をどのような状態にしたいか)〉 都市核に相応しい土地の高度利用、交通結節機能の強化及び公共施設の再編を推進し、駅前空間における更なる賑わいの創出及び良質な都市環境の形成を図る。</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名(代表的なもの)</th> <th>最終目標値設定の考え方・根拠</th> <th>目標年度</th> <th>単位</th> <th>現在値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館の来館者数</td> <td>旧来の図書館に「多様な人々が集い交流することで新たなコミュニティを生み出す場」といった付加価値を加えることで、倍増を目指したい</td> <td>R14</td> <td>人/年</td> <td>256,048</td> <td>520,000</td> </tr> <tr> <td>阪神西宮駅の利用者数</td> <td>コロナ禍前(R1)の利用者数を目標値とする</td> <td>R14</td> <td>人/日</td> <td>45,649</td> <td>48,252</td> </tr> </tbody> </table>	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値	中央図書館の来館者数	旧来の図書館に「多様な人々が集い交流することで新たなコミュニティを生み出す場」といった付加価値を加えることで、倍増を目指したい	R14	人/年	256,048	520,000	阪神西宮駅の利用者数	コロナ禍前(R1)の利用者数を目標値とする	R14	人/日	45,649	48,252
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値													
	中央図書館の来館者数	旧来の図書館に「多様な人々が集い交流することで新たなコミュニティを生み出す場」といった付加価値を加えることで、倍増を目指したい	R14	人/年	256,048	520,000													
	阪神西宮駅の利用者数	コロナ禍前(R1)の利用者数を目標値とする	R14	人/日	45,649	48,252													
	<p>計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内を東西に貫く区画道路(2区間)を廃止し、大街区化による駅前敷地の一体的な利活用を推進 安全性と乗換利便性の高いバス動線や歩行者動線を確保し、交通結節機能を大幅に改善 <p>【公民連携事業の概要】 ・民間事業者が土地区画整理事業の施行者となり、市は公共施設整備にかかる費用を負担する。また、バスロータリーは民間事業者が整備する。 ・地区計画制度を活用し、歩道上空地・広場等の整備に応じて容積率を緩和することで都市核にふさわしい駅前空間を誘導する。</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月または年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度以前</td> <td>現況測量、設計、事業計画作成</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>設計、事業計画作成、施行認可手続き</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>移設補償、電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>移設補償、道路工事、電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>移設補償、道路工事、電線共同溝工事、公園工事</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>移設補償、道路工事、電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>令和12年度以降</td> <td>道路工事、電線共同溝工事</td> </tr> </tbody> </table>	年月または年度	取組内容	令和6年度以前	現況測量、設計、事業計画作成	令和7年度	設計、事業計画作成、施行認可手続き	令和8年度	移設補償、電線共同溝工事	令和9年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事	令和10年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事、公園工事	令和11年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事	令和12年度以降	道路工事、電線共同溝工事		
年月または年度	取組内容																		
令和6年度以前	現況測量、設計、事業計画作成																		
令和7年度	設計、事業計画作成、施行認可手続き																		
令和8年度	移設補償、電線共同溝工事																		
令和9年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事																		
令和10年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事、公園工事																		
令和11年度	移設補償、道路工事、電線共同溝工事																		
令和12年度以降	道路工事、電線共同溝工事																		

事業計画	予定事業費	840,000 千円	左記の内 国県支出(千円)	420,000	起債+一般財源(千円)	420,000
	事業による経済効果等	費用便益比(B/C)= 2.33 【国の指定算出方法に準拠】(算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) ・「土地区画整理事業における費用便益分析マニュアル(案)」(令和6年3月) 便益の現在価値(B)=1,699百万円、費用の現在価値(C)=730百万円 費用便益比(B/C)=2.33、純現在価値(B-C)=969百万円 ・事業区域周辺の土地について高度利用など活性化につながる。 ・安全性と乗換利便性の高いバス動線や歩行者動線の整備により交通結節機能が大幅に改善される。				

懸案事項等	事業を実施しない場合の懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> 都市の拠点としてふさわしい都市機能の集積と土地の有効活用が図ることができない。 交通利便性や安全性などの面で十分な交通結節機能を確保することができない。
	事業を実施した場合の懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中の安全な歩行者動線の確保、廃道に伴う自動車動線の変更の誘導等において、入念な施工計画の立案が必要となる。

【委員会意見】

必要性	特になし。
合理性	特になし。
規模・位置・構造	特になし。
環境・社会性・安全性	区画整理による流入自動車交通量の削減もCO2排出量削減に寄与するのではないか。
機能性	特になし。

令和 6 年度 西宮市公共事業評価シート

事業名	阪神西宮駅北地区公民連携事業(区画整理)
-----	----------------------

【委員会評価結果】

[1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが望ましい 3:計画の大幅見直しが望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である]

評価委員会の総合判断	1 計画どおりの実施が望ましい
	<p style="text-align: center;">評価委員会の総合的な意見</p> <p>区域内の民間開発については、市の目指すまちづくりと整合するよう施設の整備・配置計画について、事業主体とよく調整を進めていただきたい。とりわけ、公園面積の減少に対する処置は適切に行っていただきたい。</p>